

水戸市立になって初めて

# 優勝

## 女子総合優勝

晴天の下、九月十二日にケーズデンキスタジアム水戸陸上競技場で行われた、水戸市新人陸上競技体育大会で、常澄中学校は、女子が総合優勝、男子が総合第五位というすばらしい成績を収めた。

女子の総合優勝は、水戸市立になって常澄中初、また、ここ二十数年のこの大会でも、陸上部がない学校が総合優勝を取ったことも初というすばらしい快挙であった。昨年度は、中央地区駅伝大会で大会史上初の男女アベック優勝を果たすなど、近年の常澄中の運動での活躍には目を見張るものがある。これは、体育の授業によるものが大きいようだ。一年生からエンドレスリレーを行い、体力の向上に努めていることや、計画的な体づくり運動で、生徒一人一人に効果的に筋力を高めていることが優勝の原動力となったようだ。また、春先から始まり、夏休みも継続して陸上の練習を行ったことも一因に挙げられる。これからはじまる水戸市新人体育大会でも、各部の活躍が大いに期待される常澄中学校に今、目が離せない。

2年女子1500m  
優勝 小高夏綺さん  
走っている時は、とにかく前に（出て）、1秒でも速いタイムを出そうと必死でした。タイムは自己ベストではなかったので悔しかったのですが、1位でゴールできたことはうれしかったです。  
閉会式で、「総合優勝常澄中」といわれた時はびっくりしました。



## 男子も総合5位 水戸市内の陸上部のない学校ではこちらも最上位

フィールド種目の活躍が目立った。砲丸投げで菊池さやか（1年）が2位、馬崎美優（2年）が3位、走り高跳びで澤邊彩由（2年）が4位、走り幅跳びで荻谷未来（1年）が6位とこれまででなかなか上位に食い込めなかったフィールド種目で次々と点数を稼いだ。

横須賀裕夏（2年）が100mで4位、吉田晶（2年）が200mで6位、小沼愛理（1年）、吉田晶、渡辺絢海（2年）、横須賀裕夏が走ったリレーが4位など、今まで緑岡中や千波中、赤塚中が独占していた短距離でも活躍した。

長距離は安定した結果を残した。2年1500mは小高夏綺（2年）、川又二葉（2年）がワンツーでゴールするも、川又はタイムで3位となるが、小高は独走で優勝。実力を発揮した。猪狩涼香（2年）も800mで1位とわずかの差で2位。1年1500mでは須加野桜（1年）が大健闘の7位となった。

男子は、走り高跳びで石井和希（2年）が優勝、飛田龍斗（1年）が8位、砲丸投げで吉川真太（2年）が2位、棒高跳びで須加野竜二（2年）が3位、飛田龍真（1年）が7位とこちらもフィールド種目が頑張った。また、3000mで小高隼都（2年）が3位、橋本圭吾（2年）が6位。800mでは上田智大（1年）が5位。1年1500mでは荻沼直人（1年）が8位と健闘した。

1年生の種目は、総体ではどの種目でも他校に対抗できず、得点を収めることができなかった。しかし、新人戦では長距離を中心に得点に絡んだり、もう少しで得点を得ることができたりするなど、中学校入学後の体力の向上が着実に図られ、実を結んでいる結果となった。